

# 事 業 報 告

令和3年2月9日

鳥栖・三養基西部環境施設組合

## 事業報告（令和2年7月～12月）

### 1 搬入ごみについて

令和2年7月～12月の市町搬入量は、総計17,643トン（可燃14,162 不燃粗大2,530 資源951）で、前年比較では74トンの減少（鳥栖市 △127 上峰町 △25 みやき町 78）となりました。また、コロナ過の中、事業系の可燃ごみが減少し、直接搬入による不燃・粗大ごみが増加しました。

#### ■種類別地区別搬入ごみ量

（単位トン）

	鳥栖市			上峰町			みやき町		
	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源	可燃	不燃・粗大	資源
7月	1,799.29	201.88	104.82	168.51	29.53	12.88	456.52	247.41	30.94
8月	1,766.23	230.21	120.41	162.56	45.19	16.27	440.49	100.78	36.84
9月	1,782.27	243.52	105.54	163.73	39.02	12.98	428.92	128.10	30.23
10月	1,764.35	236.02	108.55	163.68	52.43	14.03	430.11	144.19	33.25
11月	1,620.12	215.30	101.58	156.44	36.64	13.81	420.24	109.21	28.62
12月	1,804.78	263.52	134.19	176.79	56.33	14.24	456.76	150.66	32.11
計	10,537.04	1,390.45	675.09	991.71	259.14	84.21	2,633.04	880.35	191.99

### 2 溶融資源化センターについて

令和2年7月～12月のごみ溶融量は16,732トンで溶融スラグ1,260トンを経済資源物として回収しました。形態別では1炉操業86日、2炉操業87日となりました。

また10月20日～24日に共通系設備の定期整備を実施しました。

なおエネルギー使用に伴う二酸化炭素の排出量は5,099トン-CO2です。

#### ■溶融炉月別操業状況

（単位トン）

	処理量			スラグ量	CO2 排出量	備考
	1号炉	2号炉	計			
7月	2,600.95	0	2,600.95	237.34	653	
8月	1,438.03	1,737.21	3,175.24	239.22	1,032	
9月	1,059.67	1,929.69	2,989.36	264.65	915	
10月	0	1,769.45	1,769.45	190.35	595	10/20～24 共通系設備定期整備
11月	1,664.07	1,570.78	3,234.85	160.86	909	
12月	1,326.27	1,636.08	2,962.35	167.46	995	
計	8,088.99	8,643.21	16,732.20	1,259.88	5,099	

\*スラグ量は、排出ベース CO2排出量は、エネルギー使用に伴うもの（電気、LPG）

### 3 リサイクルプラザについて

令和2年7月～12月のごみ処理量は3,481トンで、主な資源化物として金属類395トン、紙類424トン、びん類237トン、ペットボトル75トン、その他プラスチック類50トン、小型家電26トンを回収し、選別残渣2,256トンを溶融資源化センターで処理しました。また、プラザ棟に設置したリサイクルコーナーでは、資源ごみ5.2トンを回収しました。

#### ■資源化物の搬出状況

(単位トン)

	金属類	紙類	古布	びん	プラスチック類			小型家電	計
					PET	その他	白トレイ		
7月	52.57	57.29	4.56	41.65	11.14	5.86	0.24	2.23	175.54
8月	67.69	70.21	4.77	43.05	12.43	13.52	0.40	5.11	217.18
9月	65.19	88.89	4.28	24.20	17.08	5.81	0.19	4.50	210.14
10月	82.36	61.98	8.36	48.14	12.19	6.80	0.28	4.81	224.92
11月	58.48	57.14	7.89	33.03	11.27	12.36	0.39	4.83	185.39
12月	68.50	88.98	9.83	46.78	11.18	5.56	0.26	4.12	235.21
計	394.79	424.49	39.69	236.85	75.29	49.91	1.76	25.60	1,248.38

### 4 環境保全について

環境保全協定に基づき、令和2年11月27日に連絡協議会を開催し、令和2年度の環境測定結果中間報告及び令和3年度の環境測定実施計画について説明しました。併せて溶融資源化センターとリサイクルプラザ処理棟の現地確認を行いました。

また12月10日～11日に溶融資源化センターの排ガス測定、騒音・振動測定、悪臭測定等を実施しました。

#### ■排ガス測定結果（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法による測定）

	ばいじん	硫黄酸化物	窒素酸化物	塩化水素	ダイオキシン類	全水銀
協定値 (法規制)	0.01g/m <sup>3</sup> N	50ppm	100ppm	50ppm	0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup>	50μg/m <sup>3</sup> N
R2.12.11	0.002	19	43	8.3	0.00037	22

■騒音・振動測定結果 昼間、夜間とも基準値以下

■悪臭測定結果 全項目基準値以下

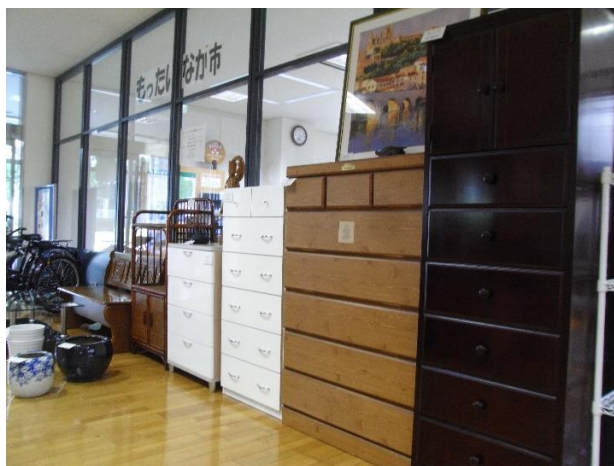
## 5 啓発事業について

令和2年7月～12月に以下の事業を実施し1,025名の参加がありました。

項目	件数	利用者数
視察研修等	8件	395名
環境教室等	1件	160名
環境事業	4件	614名

### ■事業別利用者一覧表

項目	利用月日	内容	利用者数
視察研修等	9/8	中原小学校4年生	74
	10/10	Uネット佐賀東部EM勉強会	7
	10/15	基里小学校4年生	65
	10/22	三根東小学校4年生	36
	10/30	鳥栖北小学校4年生	126
	11/14	Uネット佐賀東部EM勉強会	7
	11/18	三根校区老人クラブ連合会	40
	12/12	鳥栖三養基地区労働者福祉協会	40
環境教室等	7/5～10/18	菊づくり教室	160
環境事業	10/1～12	もったいなか市	141
	11/2～12	もったいなか市	168
	12/1～12	もったいなか市	155
	11/7～21	菊花展示会	150



もったいなか市



菊花展示会

## 6 安全管理について

一般廃棄物処理施設の安心安全を維持していくため各種訓練を実施しました。

### ■ 溶融資源化センター総合防災訓練

・ 令和2年7月29日

現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練し、災害に万全の備えで臨んでいきます。今回のテーマは、溶融資源化センター内外で起こり得る環境事故を想定した対応や処置の訓練を実施しました。

・ 令和2年12月16日

本年7月の訓練に引き続き、現実的に起こり得る災害事例を想定して、安全にかつ効率的に行動すべき具体的内容について訓練しました。今回のテーマは、溶融資源化センターのごみピットおよびごみ搬送ラインで発生した火災事故を想定した対応や処置の訓練を実施しました。

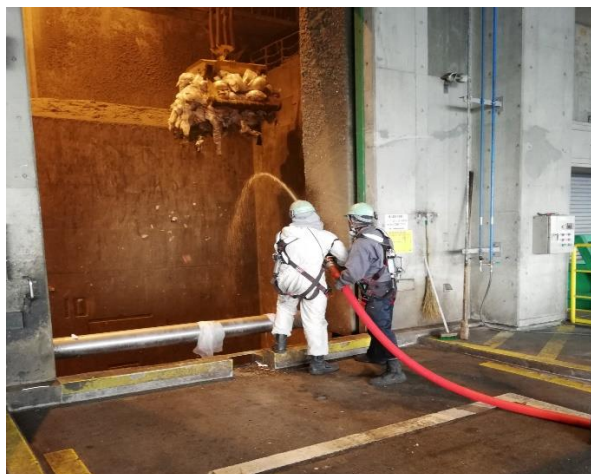
### ■ リサイクルプラザ自衛消防訓練

・ 令和2年11月27日

啓発施設であるリサイクルプラザでは、火災発生時に適切な対応をするため、初期火災消火、関係各所への通報、避難誘導訓練を行いました。



11月27日リサイクルプラザ



12月16日溶融資源化センター

## 7 熊本県で発生した災害廃棄物の受入れについて

7月3日からの大雨により熊本県内で発生した災害廃棄物の処理について「九州・山口9県における災害廃棄物処理等に係る相互支援協定」に基づき佐賀県から支援要請がありました。これを受け、当組合では熊本県芦北町から7月27日から10月16日まで412トンの災害廃棄物（可燃ごみ）の受入れを行いました。

## 8 新型コロナウイルス感染拡大防止について

受託事業者も含む感染拡大防止連絡会議を開催し情報の共有化を図り、ごみ搬入に際する感染防止対策を徹底した。